



② 松山城二之丸史跡庭園

藩主の住まい跡を庭園として整備。かんきつや四季折々の草花、流水などを配置して、かつての間取りを表現している。

■住/松山市丸之内5
■問/☎089-921-2000
(二之丸・堀之内管理事務所)
■営/9:00~17:00▶最終入場16:30
(時期により異なる) 12月第3水曜休



① 松山城

春には花見の名所となり、松山春まつりの舞台としても知られている。城内では甲冑試着体験などの貴重な体験も可能。

■住/松山市丸之内1
■問/☎089-921-4873
(松山城総合事務所)
■営/9:00~17:00▶最終入場16:30
(時期により異なる) 12月第3水曜休

国内屈指の城郭建築



現存12天守

江戸時代以前に建設され、一国一城令、廃城令、太平洋戦争などでも失われず、現在まで残っている全国に12カ所しかない天守のこと。瓦に徳川家の家紋である「葵の御紋」が付されているのは、現存12天守の中でも松山城のみとなっている。



天守防衛の究極の姿! 連立式天守

連立式天守は天守・小天守・櫓を四方に配し、渡櫓(長屋形式の櫓)でつなぐ形式のこと。建物で仕切られた中庭があるのが特徴で、天守防衛の究極の姿であるともいわれている。現存12天守の城の中では、姫路城と同じ構造になっている。



屏風折石垣

間隔を置いて屏風のように折り曲げた組み方のこと。折れ目をつくることで、石垣の強度を高めるとともに、攻め手を側面から攻撃することができる「横矢掛かり」が仕込まれている。



さまざまなイベントの舞台に
城山公園堀之内地区



リニューアルした花園町通り



松山には狸伝説が
いっぱいあるよ!



洒落た雰囲気のあるロープウェイ街



新しい商業施設がオープンし、
にぎわいに満ちた一番町界隈

コラム

ここがいい、加減。

松山城は お城の教科書



松山観光ボランティアガイドの会副会長
高須賀 勲さん

お城好きが高じて松山城のガイドをしている私にとって、松山城は最も親しみのあるお城であり、知れば知るほど「郷土の宝」であることを感じます。だからこそ、「来てよかった」「松山城ってすごい、面白い」と思っていた。ただ、それだけ当分の建物が残されているという点、江戸時代のお城の縄張りを知るならまず松山城を見ていただきたい。特に地元の子供たちには、この「宝」をしっかり伝えていきたいと思っています。



昔から門扉がない重要文化財の戸無門



加藤嘉明公騎馬像
ロープウェイ乗り場の横です!

青雲の見晴らし
山頂広場からはとてもいい眺め!

堀之内
堀にはハクチョウがいるよ!



天下の名城と城下町

現存12天守の名城が見守るまち

松山市中心部の勝山山上に佇む松山城は、日本有数の連立式天守をもつ名城。天守をはじめ21の建造物が重要文化財に指定され、藩主の住まいがあった二之丸も含めて見どころは満載。

江戸時代以前に建てられた天守は、今、国内に12城しか残っていません。松山の中心に位置する標高132メートルの勝山に本丸を構える松山城は、その貴重な「現存12天守」のうちのひとつです。1602(慶長7)年に築城を開始したのは、関ヶ原の戦いで功績のあった加藤嘉明ですが、この時の天守は後に改築され、さらに落雷によって焼失。現在の天守は1854(安政元年)に再建落成したものです。「我が国最後の完全な城郭建築」とも呼ばれており、威厳に満ちたその姿は松山市民の誇りとなっています。城内を観覧できる天守をはじめ野原櫓、乾櫓、天守へと至る一ノ門、戸無門、



三之丸、二之丸から本丸へ
向かう松山城最大の城門!

Around Japan, 12 castles with keep towers that were built before the Edo period (which started in 1603) still remain. One of them is the Matsuyama Castle, where 21 structures including the keep are designated as Japan's important cultural properties. Ninomaru Historical Garden, where the local domain lord used to live, is also a place of interest.

筋鉄門東扉など合わせて21の重要文化財があります。また、実際に藩主が住まいとしていた二之丸跡は庭園として整備されており、花木などによって往時の間取りが再現されています。天守への登城道は全部で4ルート整備されていますが、中でもロープウェイ街に面した東雲口からのルートは、山麓から八合目の長者ヶ平までロープウェイとリフトが敷設されています。徒歩では、木々に囲まれた登山道で自然との触れ合いを楽しむことができます。天守前に広がる本丸広場は、市民や観光客の憩いの場として愛され、ここからは松山市内や瀬戸内海を一望でき、爽快そのものです。夜には、ライトアップされた美しい松山城の姿を仰ぎ見ることができます。

加藤嘉明とは

1563(永禄6)年、三河国で松平(徳川)家康の家臣・加藤家の長男として生まれる。父が家康に背いたことから流浪の身となるが、その性分を気に入った豊臣秀吉の直臣となり、賤ヶ岳七本槍の七将の一人として武功を上げる。その後も数々の戦で功績を挙げ、1595(文禄4)年には伊予国に移る。関ヶ原の戦いでは東軍につき、1602(慶長7)年に松山城の築城に着手、家臣の足立重信に河川改修仕事を命じるなど城下町の整備にも取り組んだ。

